

1. 修正

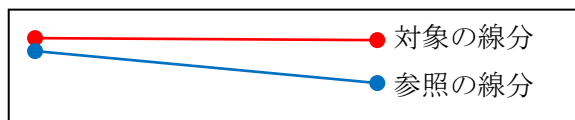
- [基盤地図情報]-[基盤地図情報 XML 検査]で、整備作業用実測点.xml の検査の際にエラー「NullPointer...」がでる問題を修正しました。
- [基盤地図情報]-[基盤地図情報 XML 検査]の「出典メタデータと編集実施フラグの組み合わせ」で、エラーでないのにエラーとしてしまう問題を修正しました。
- [基盤地図情報]-[基盤地図情報 XML 作成]で DM 分類コードが 1100, 1111, 2100, 2300, 5100 の場合、編集実施フラグを True で出力します。

2. シェープ 線分一致

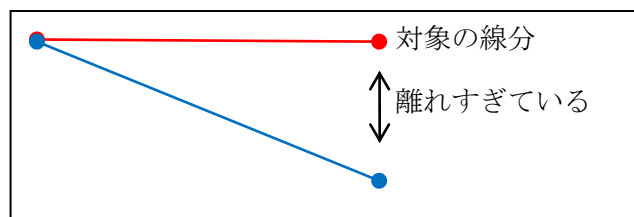
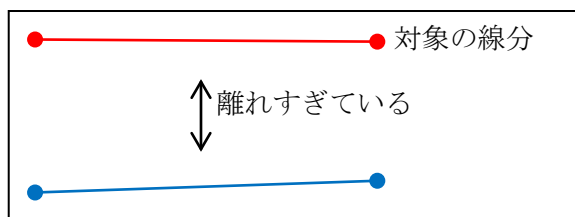
新メニュー[チェック]-[シェープ 線分一致]を追加しました。

行政区画のポリゴンの線分が行政区画界線・町字界線などの線分と一致していることを確認します。行政区画などの対象の線分の始点と終点の座標が、行政区画界線などの参照の線分の始点と終点とほぼ一致していること、微小なずれがないことを確認します。もし、一致していない場合、対象の線分の始点・終点を移動できます。

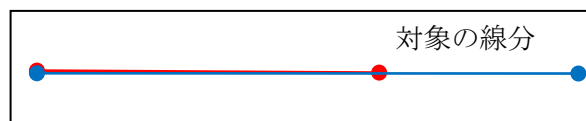
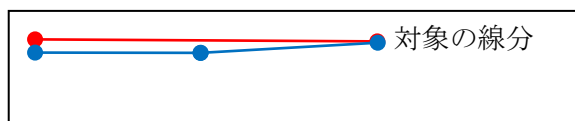
対象の線分の始点と終点について、ごく近くに参照の線分の始点と終点があれば、対応しているとします。対象の端点と参照の端点の距離を調べ、両方の組に距離が指定された最長距離より短い場合、対応しているとします。



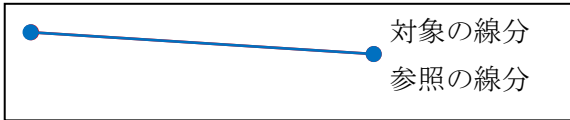
対象の線分の近くに対象のシェープデータの線分がない場合、対応する線分はないとします。対応する線分がない場合をリストアップできます。



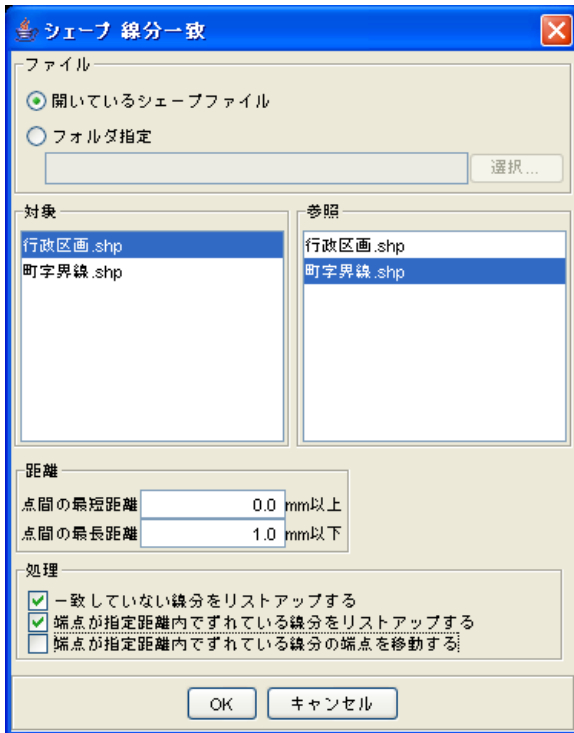
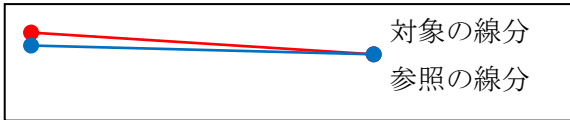
見掛け上、一致しているようでも、一本の線分に対して複数の線分が対応する場合は、対応する線分がないこととなります。



対象の線分の始点と終点の座標が参照の線分と完全に一致している場合は、問題なしです。



対象の線分の端点間の距離の両方が指定した最短距離より小さい場合、一致するとみなすことができます。



対象

チェックの対象となるポリゴン・ポリラインのシェープファイルを選択します。複数のシェープファイルが選択できません。

参照

参照となるポリゴン・ポリラインのシェープファイルを選択します。複数のシェープファイルが選択できます。対象と参照は同じシェープファイルは選択できません。

点間の最短距離

対象と参照の線分の端点間の距離の両方がこの値より小さい場合、線分は一致しているとします。0.0の場合、座標値が完全に一致していることが、一致の条件となります。

点間の最長距離

対象と参照の線分の端点間の距離の両方がこの値以下の場合、双方の線分が対応しているとします。どちらかがこの値より大きい場合、対象の線分に対応する参照の線分はないとします。

一致していない線分をリストアップする

対象の線分について、端点からの距離の両方が「点間の最長距離」以下の参照の線分が見つからない場合、対象の線分をリストアップします。

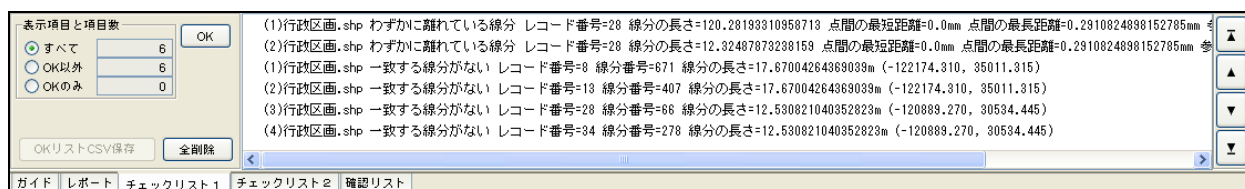
端点が指定距離内でずれている線分をリストアップする

対応する線分があり、端点間の距離のどちらかが「点間の最短距離」以上の場合、対象の線分をリストアップします。端点間の距離の両方が 0.0 あるいは「点間の最短距離」より小さい場合は、リストアップしません。

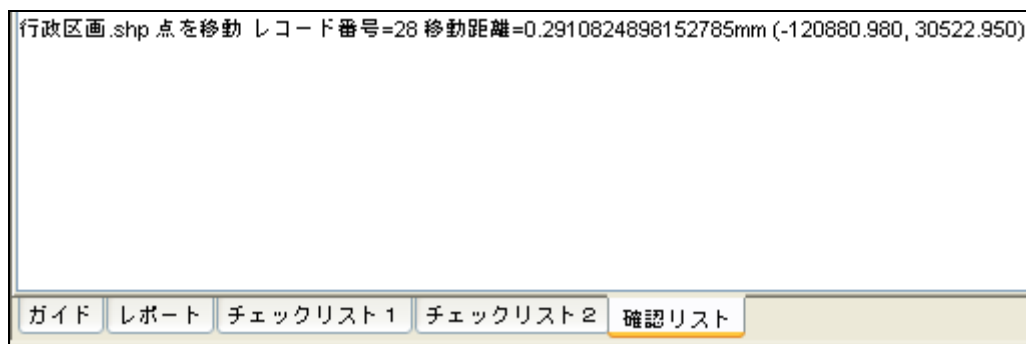
端点が指定距離内でずれている線分の端点を移動する

対応する線分があり、端点間の距離のどちらかが「点間の最短距離」以上の場合、対象の線分の端点(ポリゴン・ポリラインの頂点)を、参照の線分の端点と同じ座標にします。つまり、対象の線分を参照の線分と一致させます。

結果は[チェックリスト 1]に表示します。



また、移動した点は[確認リスト]に表示します。

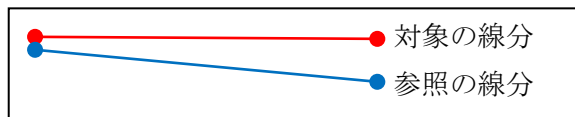


3. JPGIS-XML 線分一致

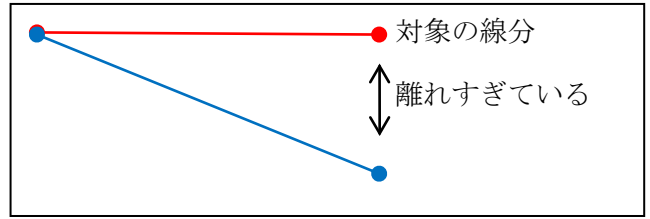
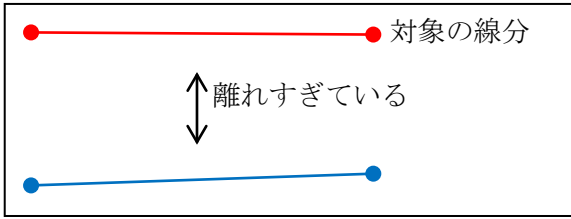
新メニュー[チェック]-[JPGIS-XML 線分一致]を追加しました。

行政区画の線(Curve)の線分が行政区画境界線・町字境界線などの線分と一致していることを確認します。行政区画などの対象の線分の始点と終点の座標が、行政区画境界線などの参照の線分の始点と終点とほぼ一致していること、微小なずれがないことを確認します。

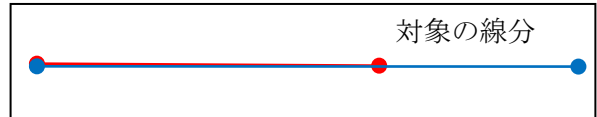
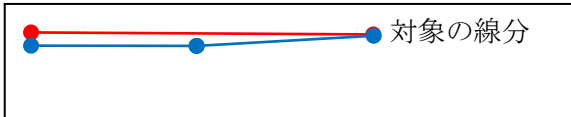
対象の線分の始点と終点について、ごく近くに参照の線分の始点と終点があれば、対応しているとします。対象の端点と参照の端点の距離を調べ、両方の組に距離が指定された最長距離より短い場合、対応しているとします。



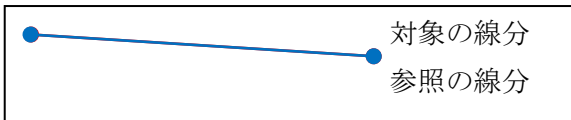
対象の線分の近くに対象のシェープデータの線分がない場合、対応する線分はないとします。対応する線分がない場合をリストアップできます。



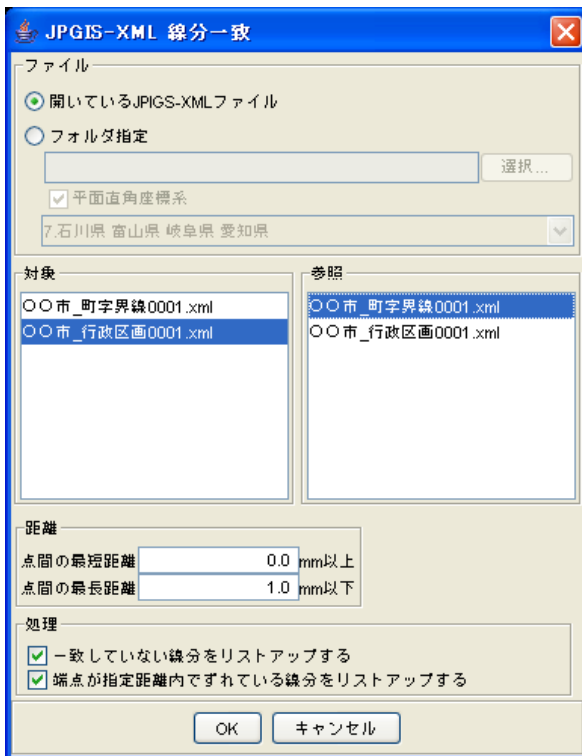
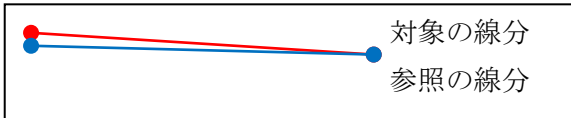
見掛け上、一致しているようでも、一本の線分に対して複数の線分が対応する場合は、対応する線分がないことになります。



対象の線分の始点と終点の座標が参照の線分と完全に一致している場合は、問題なしです。



対象の線分の端点間の距離の両方が指定した最短距離より小さい場合、一致するとみなすことができます。



対象

チェックの対象となるポリゴン・ポリラインの JPGIS-XML ファイルを選択します。複数の JPGIS-XML ファイルが

選択できます。

参照

参照となるポリゴン・ポリラインのシェープファイルを選択します。複数の JPGIS-XML ファイルが選択できます。

対象と参照は同じ JPGIS-XML ファイルは選択できません。

点間の最短距離

対象と参照の線分の端点間の距離の両方がこの値より小さい場合、線分は一致しているとします。0.0 の場合、座標値が完全に一致してることが、一致の条件となります。

点間の最長距離

対象と参照の線分の端点間の距離の両方がこの値以下の場合、双方の線分が対応しているとします。どちらかがこの値より大きい場合、対象の線分に対応する参照の線分はないとします。

一致していない線分をリストアップする

対象の線分について、端点からの距離の両方が「点間の最長距離」以下の参照の線分が見つからない場合、対象の線分をリストアップします。

端点が指定距離内でずれている線分をリストアップする

対応する線分があり、端点間の距離のどちらかが「点間の最短距離」以上の場合、対象の線分をリストアップします。端点間の距離の両方が 0.0 あるいは「点間の最短距離」より小さい場合は、リストアップしません。

結果は[チェックリスト 1]に表示します。

表示項目と項目数	OK	(1)〇〇市_行政区画0001.xml わずかに離れている線分 行政区画 平井 線分の長さ=12.324832880552583 点間の最短距離=0.0mm	▲
<input checked="" type="radio"/> すべて	6	(2)〇〇市_行政区画0001.xml わずかに離れている線分 行政区画 平井 線分の長さ=120.28191476586565 点間の最短距離=0.0mm	▲
<input type="radio"/> OK以外	6	(1)〇〇市_行政区画0001.xml 一致する線分がない 行政区画 吉川 線分番号=599 線分の長さ=17.67004264369039m (-122174.310	▼
<input type="radio"/> OKのみ	0	(2)〇〇市_行政区画0001.xml 一致する線分がない 行政区画 日吉 線分番号=290 線分の長さ=17.67004264369039m (-122174.310	▼
OKリストCSV保存		(3)〇〇市_行政区画0001.xml 一致する線分がない 行政区画 平井 線分番号=234 線分の長さ=12.530821040352823m (-120888.27	▼
全削除		(4)〇〇市_行政区画0001.xml 一致する線分がない 行政区画 上平井 線分番号=12 線分の長さ=12.530821040352823m (-120888.2	▼
ガイド レポート チェックリスト 1 チェックリスト 2 確認リスト			